

基調講演

「退学者を防ぐために、今求められるもの」

＝現代の学生気質と求められる支援・対応策を

メンタルヘルスの視点から考える＝

退学者の問題は大学、専門学校にとって永遠のテーマです。退学要因となるもの、たとえば経済的事情や明らかな疾病等の健康上の事由ならばやむを得ないものの、人間関係の悩みや学習意欲の喪失、心の問題などからの退学は深刻です。学校側にとっても、退学者の増加は経営上の損失となり、特に小・中規模の学校にとっては大きな経営上の問題となっています。

問題のある学生への対応方法は千差万別でケースバイケースかも知れません。また退学に至る背景や要因は多様化していますが、原因となるもののひとつにメンタル不調、コミュニケーション障害の問題があります。

改めて実態を認識すると共に、退学防止となるポイントを整理し、具体的な学校の取り組み事例を通じて一般論を超えた現場ならではのノウハウを紹介しながら、早期発見の大切さや、学生の変化への気付き、効果的な学生への働きかけなどについて考えていきます。

講演概要

廣川進先生の専門領域は、産業メンタルヘルス、惨事ストレス、そしてキャリアカウンセリングです。学校や企業での現場体験を踏まえた対応方法の〈問題提起〉と〈背景説明〉、そして〈解説〉を通して「学生への支援の必要性」について整理し、理解を深めていきます。

〈問題提起〉 退学（休学）理由の分析

〈背景説明〉 教育現場におけるうつ傾向、適応障害や発達障害傾向の現状

〈解説〉 解決策と対応策。具体的なケーススタディや授業デザインの提案等

〈まとめとリフレクション〉

廣川進先生のプロフィール概要

法政大学 キャリアデザイン学部 教授（臨床心理士・文学博士）

1959年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、株式会社ベネッセホールディングスにて、雑誌編集（『ひよこクラブ』の創刊等）の傍ら、大正大学大学院臨床心理学専攻修士・博士課程を修了。人事部に異動後は衛生管理者としてヘルスケア部門を立ち上げる。2001年退社後、大正大学心理社会学部臨床心理学科教授を経て現職。

他、海上保安庁（惨事ストレス対策アドバイザー）、国立国会図書館、千葉県庁（復職支援）、再就職支援会社、都内クリニック等で非常勤カウンセラーとして勤務を経験。職場の「メンタルヘルスとコミュニケーション」「リーダーシップとモチベーション」、「キャリアカウンセラー養成講座」などの研修講師も勤める。

〈主な著書〉

- ・「成人発達臨床心理学一個と関係性からライフサイクルを観る―」（岡本祐子編）ナカニシヤ出版
- ・「統合的心理臨床への招待」（村瀬嘉代子監修 共編著）ミネルヴァ書房
- ・「失業のキャリアカウンセリング 再就職支援の現場から」金剛出版